

2020 年度第 5 回外洋常任委員会 議事録

日 時 : 2020 年 2 月 21 日(金) 18:00-19:40

場 所 : ジャパンスポーツオリンピックスクエア 3F スポーツマンクラブ

出席者 : (理事)

馬場益弘副会長、中澤信夫副会長、坂谷定生常務、平松隆、菊池邦仁、橘田佳音利  
新田肇、宇都光伸、大島茂樹

(委員会)

ルール委員会外洋規則小委員会委員長 大村雅一

外洋計測委員会委員長 八木 達郎

国際委員会外洋小委員会委員長 小林 昇

外洋安全委員会委員長 大坪 明

キールボート強化委員会委員長 金子 純代

(オブザーバー)

鈴木一行 服部好彦

(順不同、敬称略) 計 16 名

議長 常務理事 坂谷 定生

## I. 挨拶

馬場副会長より、オフショア世界選手権が確定し、派遣の選手選考レースをすることになるが、本日はそのことについて協議したい。また、今後は外洋常任委員会をこの会場で開催することにしたい。との挨拶があり、その後議長として坂谷常務理事が指名され、議事に入った。

## II. 議事

### 1. 世界選手権:その後の動向と選手選考について

議長:鈴木一行氏に対し、現状報告を求めた。

鈴木:世界選手権が10月にマルタで開催されることになったが、その国枠が先般発表され、アジアからのエントリーが日本のみだったので、出場権が与えられた。このため選手選考レースをすることとなるので、スピードアップして取り組みます。まずは公示が必要で、案を作成してきたので協議してもらいたい。

この後協議の上決定した事項は下記のとおり。

- ・レースの名称は「2020 外洋男女混合二人乗世界選手権代表選考レース」
- ・公表は、まずは大枠のアナウンスの公示(予告のようなもの)とする。併せて資金がどれくらい必要かも明示する。
- ・大会に対し、特に国県などの後援は求めない。
- ・表には出ないが、大会会長は馬場副会長とする。
- ・その後出す本来の公示は、オリンピック外洋小委員会で取りまとめることとする。
- ・第1回目の公示は3月上旬に出す予定。

## 2. 今後の東京オリンピック応援フラッグリレーについて

議長:大村氏に状況報告を求めた。

大村:その後あまり進展がなく、江の島は無理なようなので、東京湾のどこかに持っていくことで調整している。

これに関し、橋田理事から未走破の部分(中国地方)はいつまでに完了させれば間に合うのかとの質問があり、大村氏より6月一杯なら対応できるのではないかと回答があった。

## 3. 外洋専門委員会報告

<外洋安全委員会>

大坪委員長:世界選手権にも関係する「サバイバルトレーニング」の件については、これまで調査してきた結果、何よりもインストラクターの質を確保することが最重要だという認識に至った。このため更に研究、調整をし、4月以降には方向性を明確にしたい。

<キールボート強化委員会>

金子委員長:今年の大学対抗マッチレースは三河湾の「みとマリーナ」で開催する予定です。

<ルール外洋規則小委員会委員長>

大村委員長:視界不良時における競技規則で、海上衝突予防法に代わる「付則 RV」が定められ、適用が推奨されているが、外洋レースではこの二つを使い分けることが考えられ、都合のいい方を使用すればいいのではないかと。

## 4. 今後の会議日程について

坂谷常務理事から今後の会議日程の提示があり、全員確認了承した。

その中での確認事項

- ・外洋常任委員会の会場は当スポーツマンクラブ
- ・団体長会議は9月が横浜開催で、外洋東京湾が担当。1月は夢の島マリーナ開催。2月の合同委員会会議は横浜開催で、レースマネジメント外洋小委員会が担当。

## 5. その他

パールレースにおける ORC クラスの設置について、関東の複数のオーナーの要望を代行する形で外洋湘南平井会長から外洋常任委員会宛に文書の提出があったので、委員会の意見を聞いた。

現状の JSAF 方針としては、「IRC がメインで、ORC はデュアルスコアリングを推奨」となっているところから、ORC 禁止ではないので、主催団体の運用に任せるしかないというのが委員会全体の総意であった。

ワンデザイン艇のセールナンバー取得について、外洋東海の会員から請願が出されたので協議した。内容は J-70 を購入したが、国内にクラス協会が無いので、セールに船体番号を付けたいが、現ルール上では不可である。調べたところ購入艇の船体番号を持つ艇は登録抹消されているので、これを付けたいという請願であった。

坂谷常務からはパリオリンピックでのオフショア種目採用も決まり、今後各所でワンデザインクラスの

レースや海外参戦も増加すると考えられる中、セール番号の発給を国内にクラス協会が存在するという条件を緩和し、World Sailing 傘下のクラス協会まで広げて認めてもいいのではないかと提案があった。

これについての協議の中では、抹消されている番号で、バッティングはしないと思われるので、事情を認めて発給するという方向で一致した。

馬場副会長からナショナルチームのコーチを、外洋から一人採用することで協議が整っているので、候補者がいれば推薦してほしい旨発言があった。

以上全議事終了したので、19時40分閉会した。

文責 坂谷定生

以上